

使ってみよう!行ってみよう!木を見直そう!

木づかいブック



「木づかいブック」の用紙は、間伐材紙を使用しています。

東急池上線 戸越銀座駅

●使ってみよう●

インテリア・文具・キッチン用品・玩具など、わたしたちの身のまわりには、木で作られたものがたくさんあります。ぬくもり、肌ざわり、香りも良く、使い続けると味も出る木材製品を、もう一度見直してみましょう。

●iLignos システム手帳



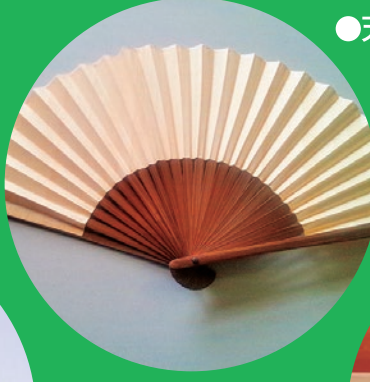
●きえすぎくん (木製ホワイトボード)



●ひきよせ 3段LL ポウルLL ヒノキ材



●天然木扇子



●森の音ができる スマートフォンスピーカー



●おつきさまパズル



○カートカン (紙製飲料容器)



●ウッドブラインド



●KISARAGI チェア



●いろいろ テーブル



●行ってみよう●

レトロな喫茶店、モダンなカフェなど、ゆったりと過ごす場所には木が活かされています。木は親しみやすい材料ですが、種類もたくさんあり性質も異なります。木をもっと知りたいと思ったら、木をふんだん使った施設へ行ってみましょう。



○東京おもちゃ美術館(東京都)
東京おもちゃ美術館は、多世代が出会う体験型ミュージアム。国産材を活用した空間があり、木製玩具も豊富に取りそろえてあります。

○木材・合板博物館(東京都)
木材・合板に関する資料を広く収集・保存・展示する博物館。各種工作体験もでき、授業、研修にも広く利用されています。



●竹中大工道具館(兵庫県神戸市)
日本で唯一の大工道具の博物館。大工道具のほかに、迫力の大型模型、木の香りを嗅いだり触ったりできるハンズオン展示も充実。

●静岡県富士山世界遺産センター(静岡県富士宮市)
富士山の自然や歴史、文化を守り伝える施設。逆さ富士を現す建物、外観の木格子が美しい。



「ウッドデザイン賞」とは

ウッドデザイン賞は、木の良さや価値を再発見させる製品や取組について、特に優れたものを消費者目線で評価し、表彰する新しい顕彰制度です。これによって“木のある豊かな暮らし”が普及・発展し、日々の生活や社会が彩られ、木材利用が進むことを目的としています。紹介されている木づかい製品・施設で●印が付いているものは受賞作品です。

<https://www.wooddesign.jp>

ご紹介した木づかい製品・施設の情報は
コチラから



「木づかい＝木を使うこと」。
それは、地球環境への「気づかい」です。

毎日の生活に国産材製品を取り入れるだけで誰でも手軽にはじめられるエコ活動、それが「木づかい」です。

木は二酸化炭素を吸収して成長するため、炭素の貯蔵庫とも言われています。

成長した木を上手に使い、再び植林し、持続可能な森林と社会の実現をめざしましょう。